



## がんばれ！日本代表！

8月から始まるバスケットボールW杯。日本代表候補25名中5名が日本国籍を有する外国人選手です。多様性の受け入れが進んできていることのアラわれかもしれません。また、選手には様々な特徴があります。3ポイントシューターの富永啓生選手、3D(3ポイントシュートとディフェンスが得意)の渡邊雄太選手、スピードを活かしてゲームを組み立てる富樫勇樹選手、河村勇輝選手など、自分の強みを発揮してチームに貢献しています。

さて、本校では様々な生徒が日々学んでいます。得意なこと不得意なことそれぞれあると思います。生徒一人一人の特性に応じた指導方法・教材等の提供、興味・関心等に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会の提供が必要であると考えています。夏期休業中には、本校教職員を対象に授業力の向上をねらい、青森県総合学校教育センターの指導主事を講師とした授業づくり研修会を行いました。夏休み明けからの授業づくりに生かしていきたいと思います。今後も生徒一人一人の成長を目指し、取り組んでいきます。

(研修部主任 山本)

## 産業科3年校外学習〔7月6日〕

職業生活を支える社会の仕組み等の利用方法について学習することを目的に、北日本トラベル株式会社、ノートルダム八戸、八戸モータースクールの3班に分かれ、仕事内容について説明を聞きました。また、午後は八戸市役所に行き、商品やサービスの契約に関するトラブルの対応についての説明を聞きました。

メモを取ったり、積極的に質問をしたりと卒業後の生活を一人一人がイメージしながら聞いていました。生徒にとって実りの多い機会となりました。

事後学習では、学んだことを班毎にスライドにまとめ、情報共有をする予定です。(沢田)



## 種差トレイルウォーク(^\_^)〔7月7日〕

社会コースの種差トレイルウォークがありました。昨年度は、新型コロナウイルスの影響と悪天候により、中止となった行事でもあり、今年はどうなるかと心配していましたが、当日の種差海岸は晴天で海風が涼しい、最高の天気恵まれ、生徒達は大喜びでした。

種差海岸では、それぞれが自然を楽しみながら散策したり、涼しい場所で一緒にお弁当を食べたりと、自然を楽しみながら学習活動に取り組むことができ、充実した1日となりました。(山内ゆ)



## 水産高校との合同清掃〔7月20日〕

普通科職業コース1学年で地域の奉仕活動として蕪島周辺の清掃活動を行っています。今回は八戸水産高校1学年と生徒会、鮫町内会の方々と合同で活動しました。

コミュニケーションをとりながら協力して拾ったり、分別したりするなど、交流を深めながら、協力して取り組むことができました。海水浴シーズンに備え、長い時間活動する班もあるなど、地域の美化に貢献することができました。

職業コース1学年では9月から地域の奉仕活動を行います。(藪谷)



## 地域の方の学校見学会〔7月20日〕

今年度は、20名の参加がありました。普通科の生徒とボッチャを通じた交流や校内カフェの体験をしていただきました。よいプレーに大きな拍手や歓声があがる等、楽しく交流をすることができました。「これからも、応援している」「次のイベントにも招待してほしい」「いい生徒たちだね」と喜んでくださいました。

地域の方々の励ましの言葉は、生徒の自己有用感の向上につながっています。ありがとうございました。(三浦と)

